

第三者提供の現状について（報告） （成果物集計）

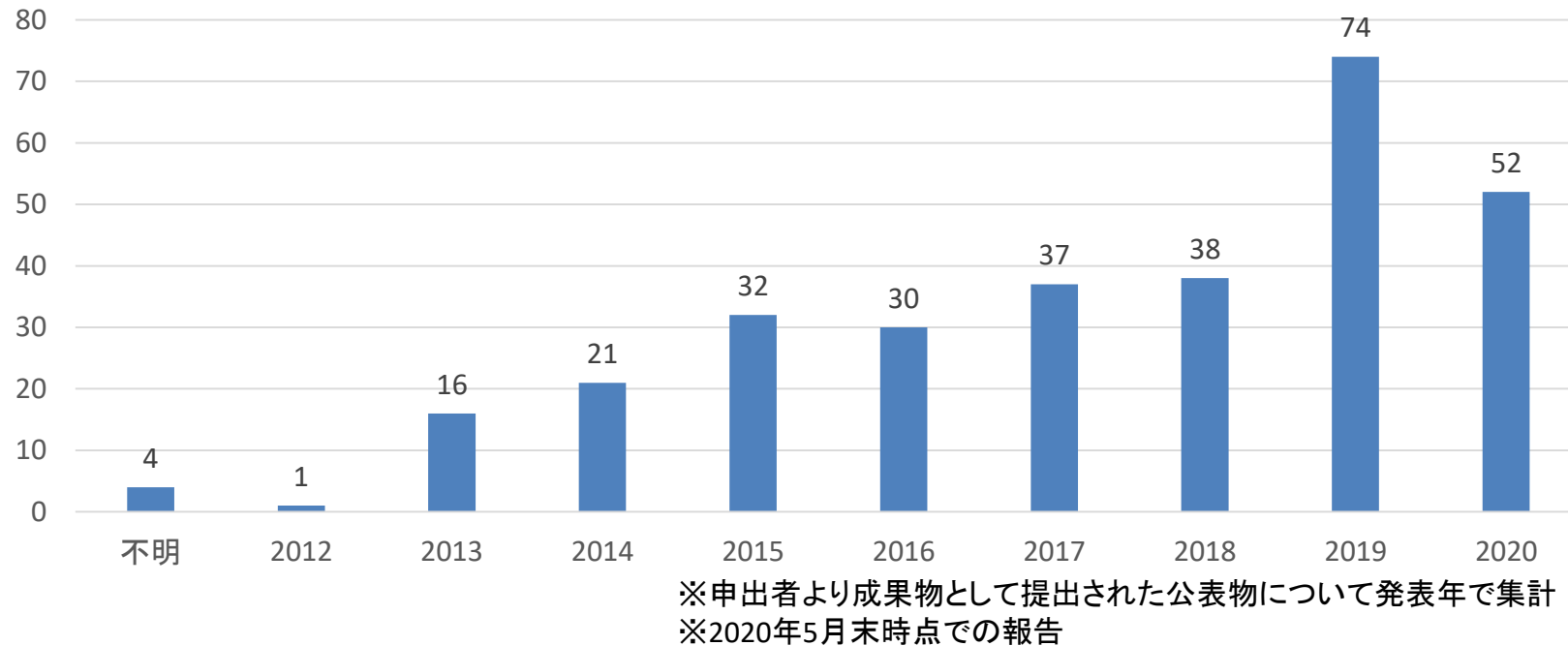
令和2年9月11日

厚生労働省保険局医療介護連携政策課

保険データ企画室

令和2年5月までに公表された成果物の集計について

- ◆ 平成23年度より、医療費適正化計画策定に資する目的以外でのNDBデータの利用が認められ、有識者会議で承諾を受けた研究に対してNDBデータの第三者提供が開始された。
- ◆ 令和2年3月末までに307研究に対するデータ提供が承諾されている。
- ◆ 平成29年までに138件、平成30年度に48件の成果物の報告があり、令和2年5月末までに新たに119件の成果物の報告があった。
- ◆ 成果物の発表年での推移については以下の通り。



※ レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン(抄)

第13 実績報告書の作成・提出

2 利用実績の公表

厚生労働省は、報告を受けた利用実績を取りまとめ、有識者会議に報告するとともに、必要に応じて利用実績をホームページ等により公表する。

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期（年）	発表者
1	宇山 佳明	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構	Cardiovascular Risks Associated with Dipeptidyl- Peptidase 4 inhibitors Monotherapy Compared to Other Anti-diabetes Drugs in the Japanese Population: A Nation-Wide Cohort Study.	論文	Pharmacoepidemiology and Drug Safety. 2019;28(9):1166-1174	2019	Maki Komamine, Kazuhiro Kajiyama, Chieko Ishiguro, Yoshiaki Uyama
2	野尻 宗子	順天堂大学臨床研究支援センター	Comorbidity status in hospitalized elderly in Japan: Analysis from National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups	論文	Scientific Reports volume 9, Article number: 20237 (2019)	2019	Shuko Nojiri, Hiroaki Itoh, Takatoshi Kasai, Kazutoshi Fujibayashi, Tomoyuki Saito, Yoshimune Hiratsuka, Atsushi Okuzawa, Toshio Naito, Kazuhito Yokoyama & Hiroyuki Daida
3	野尻 宗子	順天堂大学臨床研究支援センター	Comorbidity status in hospitalized elderly in Japan using National Database	学会	国際疫学会（abstractを投稿のみ、学会はコロナのために中止）	2020	Shuko Nojiri, Hiroaki Itoh, Takatoshi Kasai, Yoshimune Hiratsuka, Hiroyuki Daida
4	野尻 宗子	順天堂大学臨床研究支援センター	日本人における高齢者入院患者の疾患の特徴を明らかに ～ 全国の診療データベースを用いた大規模疫学解析を実施 ～	プレスリリース	学内プレスリリース	2020	野尻宗子
5	野尻 宗子	順天堂大学臨床研究支援センター	日本人高齢者のMultimorbidity： 全国入院患者の2012－2015年度の傾向.	学会	ファイザーヘルスリサーチ振興財団第25回ヘルスリサーチフォーラム	2018	平野景子、葛西隆敏、野尻宗子、 齋藤智之、藤林和俊、代田浩之
6	野尻 宗子	順天堂大学臨床研究支援センター	日本人高齢者のMultimorbidity： 全国入院患者の2012－2015年度の傾向.	抄録	ファイザーヘルスリサーチ振興財団第25回平成28年度成果報告	2018	平野景子、葛西隆敏、野尻宗子、 齋藤智之、藤林和俊、代田浩之
7	野尻 宗子	順天堂大学臨床研究支援センター	日本人高齢者のMultimorbidity： 全国入院患者の2012－2015年度の傾向.	講演録	ファイザーヘルスリサーチ振興財団第25回ヘルスリサーチフォーラム	2018	平野景子、葛西隆敏、野尻宗子、 齋藤智之、藤林和俊、代田浩之
8	飯原 なおみ	徳島文理大学	Central Nervous System Agent Classes and Fragility Fracture Risk among Elderly Japanese Individuals in a Nationwide Case-Crossover Design Study	論文	Biol Pharm Bull 2020; 43(2): 340-347	2020	Ohara E, Bando Y, Yoshida T, Ohara M, Kirino Y, and Iihara N
9	飯原 なおみ	徳島文理大学	Decreased Risk of Fragility Fractures associated with Statin Use in the Older Japanese Population: a Nationwide Case-crossover Study	論文	BPB Reports 2019; 2: 35-38	2019	Iihara N, Ohara E, Baba K, Nagao S, Bando Y, Yoshida T, Ohara M, and Kirino Y
10	飯原 なおみ	徳島文理大学	Effect of pro re nata medication usage on estimation of fragility fracture risk associated with concomitant central nervous system medications	学会	ISPE's 12th Asian Conference on Pharmacoepidemiology	2019	Ohara E, Bando Y, Yoshida T, Ohara M, Kirino Y, and Iihara N
11	飯原 なおみ	徳島文理大学	日本人高齢者における薬効別中枢神経系用薬の脆弱性骨 折発症リスク	学会	日本社会薬学会第38年会	2019	小原依里、坂東義教、吉田知司、 大原昌樹、桐野豊、飯原なおみ
12	飯原 なおみ	徳島文理大学	大規模レセプト情報を用いた多剤併用のリスク評価：ふらつきを及ぼす薬による骨折発症	報告書	科学研究費助成事業 研究成果報告書	2019	飯原なおみ
13	福間 真悟	京都大学医学部付属病院	Quality of Care in Chronic Kidney Disease and Incidence of End-Stage Renal Disease in Older Patients A Cohort Study	論文	Medical Care 2020 (in press)	2020	Fukuma S, Ikenoue T, Shimizu S, Norton E, Saran R, Yanagita M, Kato G, Nakayama T, Fukuhara S.
14	福間 真悟	京都大学医学部付属病院	高齢慢性腎臓病患者における診療の質と末期腎不全発生の 関連	学会	第61回日本腎臓学会学術総会	2018	福間真悟、池之上辰義、清水さやか、 柳田素子、加藤原太、中山健夫、 福原俊一

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期 (年)	発表者
15	満武 巨裕	医療経済研究機構	Estimating the Number of CT and MRI Patients and the Number of Examinations per a Patient; Using NDB (National Database)	学会	JRC2020/第76回日本放射線技術学会総会学術大会	2020	石川智基,満武巨裕, 佐藤淳平, 合田和生, 喜連川優
16	満武 巨裕	医療経済研究機構	レセプト情報等データベースの利活用により作成した国際統計報告に関する検討	論文	医療情報学,2020. 39(4) 189 - 194	2020	満武巨裕, 石川智基, 佐藤淳平, 合田和生, 喜連川優
17	満武 巨裕	医療経済研究機構	ナショナルデータベース(NDB)データ分析における病名決定ロジック作成のための研究:大腸がん	学会	第57回日本医療・病院管理学会学術総会	2019	高橋由光, 内海貴裕, 西川佳孝, 星野伸晃, 堀松高博, 佐藤淳平, 合田和生, 喜連川優, 石川智基, 満武巨裕, 中山健夫
18	満武 巨裕	医療経済研究機構	NDBを活用した大腸がんにおける患者数・医療費の将来推計の試み	学会	第57回日本医療・病院管理学会学術総会	2019	石川智基, 満武巨裕, 佐藤淳平, 高橋由光, 中山健夫, 内海貴裕, 西川佳孝, 星野伸晃, 堀松高博, 合田和生, 喜連川優
19	満武 巨裕	医療経済研究機構	レセプト情報等データベースを活用した放射線画像診断における利用状況可視化の試み	学会	第47回日本放射線技術学会秋季学術大会	2019	石川智基, 佐藤淳平, 合田和生, 満武巨裕
20	満武 巨裕	医療経済研究機構	放射線画像検査の利用実態における地域差分析	学会	第39回医療情報学連合大会	2019	石川智基, 満武 巨裕, 佐藤淳平, 合田 和生, 喜連川 優
21	満武 巨裕	医療経済研究機構	わが国における高血圧治療薬の使用実態 レセプト情報・特定健診等情報データベースを用いた分析	学会	第42回日本高血圧学会総会	2019	和氣 宗, 三浦 克之, 田中 佐智子, 大屋 祐輔, 野出 孝一, 伊藤 裕, 佐藤 淳平, 合田 和生, 喜連川 優, 石川 智基, 満武 巨裕
22	満武 巨裕	医療経済研究機構	我が国の全国および都道府県別の高血圧受療者数および受療率 厚生労働省レセプト情報・特定健診等情報データベースを用いた分析	学会	第42回日本高血圧学会総会	2019	三浦 克之, 田中 佐智子, 和氣 宗, 大屋 祐輔, 野出 孝一, 伊藤 裕, 佐藤 淳平, 合田 和生, 喜連川 優, 石川 智基, 満武 巨裕
23	満武 巨裕	医療経済研究機構	レセプト情報等データベースの利活用により作成した国際統計報告に関する検討	学会	第23回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム	2019	満武巨裕, 石川智基, 佐藤淳平, 合田和生, 喜連川優
24	松村 一	東京医科大学	DPP-4 Inhibitor Reduces the Risk of Developing Hypertrophic Scars and Keloids following Median Sternotomy in Diabetic Patients A nationwide retrospective cohort study using the National Database of Health Insurance Claims of Japan	論文	Plastic and Reconstructive Surgery: April 13, 2020 - Volume PRS Online First - Issue - doi: 10.1097/PRS.00000000000006904	2020	Suwanai, Hirotosugu., Watanabe, Ryo., Sato, Munemori., Odawara, Masato., Matsumura, Hajime.
25	北島 勉	杏林大学	Clinical Management Patients with Dengue Infection in Japan: Results from National Database of Health Insurance Claims	論文	American Journal of Tropical Medicine & Hygiene	2020	Yusuke Kajimoto, Tsutomu Kitajima
26	北島 勉	杏林大学	Patient and National Economic Burden of Dengue in Japan: Results from Japanese National Claims Database	論文	American Journal of Tropical Medicine & Hygiene	2020	Yusuke Kajimoto, Tsutomu Kitajima
27	松坂 方士	弘前大学医学部附属病院	青森県における下部消化管内視鏡検査実施件数から考察した大腸がん罹患率・死亡率	学会	第27回日本消化器関連学会週間 第61回日本消化器病学会大会	2019	松坂方士 田中里奈 佐々木賀広

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期（年）	発表者
28	猪狩 英俊	千葉大学医学部附属病院	Epidemiology and Treatment Outcome of Pneumonia: Analysis Based on Japan National Database	論文	J Infect Chemother. 2020 Jan;26(1):58-62.	2020	Hidetoshi Igari, Kazutaka Yamagishi, Shingo Yamazaki, Shota Murata, Misuzu Yahaba, Shin Takayanagi, Yohei Kawasaki, Toshibumi Taniguchi
29	猪狩 英俊	千葉大学医学部附属病院	A Retrospective Observational Study of Antimicrobial Treatment for Non-Tuberculous Mycobacteria Disease Using a Nationwide Claims Database in Japan	論文	J Infect Chemother. 2020 Apr;26(4):349-352	2020	Hidetoshi Igari, Kazutaka Yamagishi, Shingo Yamazaki, Shota Murata, Misuzu Yahaba, Shin Takayanagi, Yohei Kawasaki, Toshibumi Taniguchi
30	柳田 素子	京都大学	医療機関の規模別にみた降圧薬の処方実態の検討	学会	第62回日本腎臓学会学術総会	2019	平木秀輔、佐藤 憲明、内野 詠一郎、柳田 素子
31	小川 亨	横浜市医療局医療政策課情報企画担当課	ナショナルデータベースを活用したEBPMに向けて ～横浜市のがん治療の実態～	学会	日本臨床疫学会第3回年次学術大会 一般口演	2019	横浜市医療局、横浜市立大学臨床統計学教室
32	坂井 義治	京都大学医学部	食道切除術のHospital volumeと周術期医療費との関連: ナショナルデータベースを利用した5134例の解析	学会	第74回消化器外科学会学術集会	2019	坂本享史
33	大西 浩文	札幌医科大学	NDBレセプト情報を利用した二次医療圏設定の試み	学会	第57回日本医療病院管理学会学術総会	2019	高塚伸太郎、山口徳蔵、佐瀬雄治、小笠原克彦、辰巳治之、大西浩文
34	大西 浩文	札幌医科大学	道路交通網を基盤とした医療資源の適正配置に係る研究	報告書	(財)北海道開発協会への研究成果報告	2020	大西浩文、辰巳治之、高塚伸太郎、樋室 伸朗、小山雅之、山口徳蔵
35	吉永 尚紀	宮崎大学・テニユアトラック推進機構	Dissemination of Cognitive Behavioral Therapy for Mood Disorder Under the National Health Insurance Scheme in Japan (FY2010–2015): A Descriptive Study Using a Nationwide Claims Database	学会	9th World Congress of Behavioural & Cognitive Therapies	2019	Hayashi Y, Yoshinaga N, Sasaki Y, Tanoue H, Yoshimura K, Kadowaki Y, Arimura Y, Yanagita T, Ishida Y
36	吉永 尚紀	宮崎大学・テニユアトラック推進機構	How was cognitive behavioural therapy for mood disorder implemented in Japan? A retrospective observational study using the nationwide claims database from FY2010 to FY2015	論文	BMJ Open 2020;10:e033365	2020	Hayashi Y, Yoshinaga N, Sasaki Y, Tanoue H, Yoshimura K, Kadowaki Y, Arimura Y, Yanagita T, Isida Y
37	伊木 雅之	近畿大学	National Data Baseを用いた大腿骨近位部骨折発生率の検討	学会	第 2 回日本臨床疫学会学術集会（ポスター発表）	2018	玉置淳子、藤森研司、池原賢代、神谷訓康、中藤真一、沖本信和、小川純人、石井成幸、伊木雅之
38	伊木 雅之	近畿大学	Estimates of hip fracture incidence in Japan using the National Health Insurance Claim Database in 2012–2015	論文	Osteoporosis International;2019, 30:975–983 Supplement 1, 2, 3, 4	2019	J. Tamaki, K. Fujimori, S. Ikehara, K. Kamiya, S. Nakatoh, N. Okimoto, S. Ogawa, S. Ishii, M. Iki, the Working Group of Japan Osteoporosis Foundation
39	諫田 淳也	京都大学大学院医学研究科	Cost of hematopoietic stem cell transplantation in the real world: An analysis using the Japanese National Database	学会	第42回日本造血細胞移植学会総会	2020	渡邊瑞希, 大寺祥佑, 諫田淳也, 平木秀輔, 岩尾友秀, 黒田知宏, 高折晃史, 加藤源太

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期（年）	発表者
40	上條 英之	東京歯科大学	Evaluation of tooth loss among patients with diabetes mellitus using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan	論文	Int Dent J. doi:10.1111/idj.12561 (in press)	2020	Suzuki S, Noda T, Nishioka Y, Imamura T, Kamijo H and Sugihara N
41	上條 英之	東京歯科大学	レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた骨粗鬆症患者と上気道炎患者の抜歯状況について	学会	第68回日本口腔衛生学会・総会	2019	鈴木誠太郎、吉野浩一、高柳篤史、石塚洋一、佐藤涼一、小野瀬祐紀、上條英之、杉原直樹
42	上條 英之	東京歯科大学	レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）による糖尿病患者の現在歯数の検討	学会	第78回日本公衆衛生学会総会	2019	鈴木誠太郎、野田龍也、西岡裕一、明神大也、久保慎一郎、小野瀬祐樹、今村知明、上條英之、杉原直樹
43	上條 英之	東京歯科大学	NDB解析の苦悩と実際	学会・研究会	第2回NDBユ－ザー会	2019	鈴木誠太郎
44	上條 英之	東京歯科大学	Tooth Loss Among Patients with Diabetes Mellitus using National Database	学会	ADA FDI 2019 World Dental Congress	2019	Suzuki S, Noda T, Nishioka Y, Myojin Y, Kubo S, Imamura T, Kamijo H and Sugihara N
45	上條 英之	東京歯科大学	Number of Teeth and Medical Expenditure among Patients with Diabetes	学会	第98回IADR総会・学術大会	2020	Suzuki S, Noda T, Nishioka Y, Myojin T, Kubo S, Imamura T, Kamijo H, and Sugihara N
46	上條 英之	東京歯科大学	NDBを用いた、糖尿病外来患者の現在歯数と医科医療費の関連	報告書	労災疾病臨床研究事業費補助金 歯科疾患・歯科保健サービス等と就労環境との関わりに関する研究 分担研究報告書	2020	鈴木誠太郎
47	上條 英之	東京歯科大学	NDBを用いた、骨粗鬆症患者と上気道炎患者の抜歯状況の比較	報告書	労災疾病臨床研究事業費補助金 歯科疾患・歯科保健サービス等と就労環境との関わりに関する研究 分担研究報告書	2020	鈴木誠太郎
48	頭金 正博	名古屋市立大学	レセプトデータベースを用いた周術期スタチン療法の有用性についての研究	学会	医療薬学フォーラム2019 第27回クリニカルファーマシーシンポジウム	2019	黒田侑花、落部達也、榊原由子、頭金正博
49	頭金 正博	名古屋市立大学	ナショナルレセプトデータベースを用いた経皮的冠動脈形成術の予後に対する周術期スタチン投与の効果に関する研究	論文	医療薬学（受理済み・印刷中）	2020	落部達也、黒田侑花、秋田彩佑、頭金正博
50	頭金 正博	名古屋市立大学	ナショナルレセプトデータベースを用いた周術期せん妄の発症要因に関する研究	シンポジウム	第16回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム	2020	頭金正博
51	中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学	Kanagawa Investigation of the Total Check-up Data From the National Database (KITCHEN): Protocol for Data-Driven Population-Based Repeated Cross-Sectional and 6-year Cohort Studies	論文	BMJ Open. 2019 Feb 21;9(2):1-11	2019	Nakajima K, Iwane T, Higuchi R, Shibata M, Takada K, Uda J, Anan M, Sugiyama M, Nakamura T.
52	中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学	High Incidence of Diabetes in People With Extremely High High-Density Lipoprotein Cholesterol: Results of the Kanagawa Investigation of Total Checkup Data From the National Database-1 (KITCHEN-1)	論文	J Clin Med. 2019 Mar 19;8(3):	2019	Nakajima K, Higuchi R, Iwane T, Shibata M, Takada K, Sugiyama M, Matsuda M, Nakamura T.

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期（年）	発表者
53	中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学	High Concentration of Serum Aspartate Aminotransferase in Older Underweight People: Results of the Kanagawa Investigation of the Total Check-Up Data From the National Database-2 (KITCHEN-2)	論文	J Clin Med. 2019 Aug 22;8(9):	2019	Shibata M, Nakajima K, Higuchi R, Iwane T, Sugiyama M, Nakamura T.
54	中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学	Impaired Glucose Metabolism in People with Extremely Elevated High-Density Lipoprotein Cholesterol and Low Alcohol Consumption: Results of the Kanagawa Investigation of Total Checkup Data from the National Database-3 (KITCHEN-3).	論文	J Clin Med. 2019 Nov 1;8(11):	2019	Nakajima K, Higuchi R.
55	中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学	High Serum Aspartate Aminotransferase, Underweight, and Weight Loss in Older People: Results of the KITCHEN-4.	論文	Healthcare (Basel). 2020 Mar 25;8(2):	2020	Shibata M, Nakajima K.
56	三上 喜貴	長岡技術科学大学	日本の傷害ピラミッド	学会	第45回日本診療情報管理学会学術大会	2019	三上喜貴、張坤、齋藤大蔵、上昌広
57	福田 治久	九州大学	NDBレセプトデータを用いた 梅毒患者の治療中断率の評価	修士論文	九州大学大学院医学系学府医療経営・管理学専攻修士論文集	2020	荒木唯子, 福田治久
58	宮入 烈	国立成育医療研究センター	Impacts of primary care physician system on healthcare utilization and antibiotic prescription: Difference-in-Differences and causal mediation analyses	論文	Pediatric Infectious Diseases Journal (onlin first doi: 10.1097/INF.0000000000002762)	2020	Okubo Y, Uda K, Kinoshita N, Michihata N, Horikoshi Y, Miyairi I
59	平木 秀輔	京都大学医学部附属病院	患者調査におけるNDBデータの利用可能性に関する評価 ー 基本的な集計項目について ー	学会	第78回日本公衆衛生学会総会	2019	加藤源太、大寺祥佑、明神大也、西岡祐一、久保慎一郎、野田龍也
60	山崎 大輔	三重大学医学部附属病院	ナショナルデータベース（NDB）を用いた全国の抗CDI薬処方件数と抗菌薬使用量との関連性に関する検討	学会	第67回日本感染症学会東日本地方会学術集会	2018	田辺正樹、山崎大輔、村木優一、田中知佳、日馬由貴、石金正裕、大曲貴夫
61	山崎 大輔	三重大学医学部附属病院	ナショナルデータベースを用いた抗菌薬使用量と使用日数の年齢群別の比較	学会	第34回日本環境感染学会・学術集会	2019	山崎大輔、田辺正樹、村木優一、日馬由貴、石金正裕、大曲貴夫
62	山崎 大輔	三重大学医学部附属病院	Age-specific Distribution of Antimicrobial days of therapy (DOT) using National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan (NDB Japan) ~Comparison with defined daily doses per 1000 inhabitants per day (DID).	学会	IDWeek2019	2019	山崎大輔、田辺正樹、村木優一、日馬由貴、石金正裕、田中知佳、大曲貴夫
63	山崎 大輔	三重大学医学部附属病院	Aminoglycoside injections are the most frequently prescribed to children in outpatient settings: nation- wide population-based study in Japan in 2016.	学会	ECCMID 2019	2019	日馬由貴、石金正裕、田中知佳、木村有希、村木優一、大曲貴夫
64	山崎 大輔	三重大学医学部附属病院	NDBを用いた日本における2016年の抗MRSA薬の使用を反映する各指標と分離率及び耐性率の関係	学会	第29回日本医療薬学会年会	2019	三田陽介、村木優一、後藤良太、日馬由貴、山崎大輔、石金正裕、田辺正樹、大曲典夫
65	山崎 大輔	三重大学医学部附属病院	レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）に基づいた抗菌薬使用量サーベイランス	HP	国立国際医療研究センターAMR臨床リファレンスセンターのサイト内 (http://amrcrc.ncgm.go.jp)	2019	日馬由貴、石金正裕、村木優一、山崎大輔、田辺正樹、大曲貴夫

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期（年）	発表者
66	山崎 大輔	三重大学医学部附属病院	薬剤耐性（AMR）ワンヘルスプラットフォーム	HP	国立国際医療研究センターAMR臨床リファレンスセンターのサイト内（ http://amrcrc.ncgm.go.jp ）	2019	日馬由貴、石金正裕、大曲貴夫
67	山崎 大輔	三重大学医学部附属病院	地域における感染症対策に係るネットワークの標準モデルを検証・推進するための研究-県内の医療機関を対象とした抗菌薬サーベイランス	報告書	厚生労働科学研究費補助金（平成29年度新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）分担研究報告書	2020	村木優一、山崎大輔
68	山崎 大輔	三重大学医学部附属病院	細菌の薬剤耐性機構解析に基づいた多職種連携による効率的・効果的な院内耐性菌制御の確立のための研究ー抗菌薬使用状況の解析に関する研究ー	報告書	厚生労働科学研究費補助金（令和元年度 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業研究事業）分担研究報告書	2020	村木優一
69	花岡 希	国立感染症研究所	流行性角結膜炎における迅速診断キットの利用状況の解析	学会	2019年 第56回日本眼感染症学会	2019	花岡希、藤本嗣人
70	花岡 希	国立感染症研究所	PCF,EKC患者数について	報告会	2019年 衛生微生物技術協議会第40回研究会	2019	花岡希、藤本嗣人
71	石川 ベンジャミン光一	国際医療福祉大学	大規模医療データを利用した医療ICT利用の効果検証に関する研究	事業評価資料	厚生労働省における地域医療基盤推進研究事業の事後評価資料	2019	石川 ベンジャミン光一
72	石川 ベンジャミン光一	国際医療福祉大学	大規模医療データを利用した医療ICT利用の効果検証に関する研究	調査資料	ヒアリング調査用資料-20190313-公開確認後	2019	石川 ベンジャミン光一、小林大介、渡邊 亮、佐藤 大介、松居 宏樹
73	石川 ベンジャミン光一	国際医療福祉大学	大規模医療データを利用した医療ICT利用の効果検証に関する研究	報告書	平成30年度 総括・分担研究報告書	2019	石川 ベンジャミン光一、小林大介、渡邊 亮、佐藤 大介、松居 宏樹
74	水野 篤	聖路加国際大学	Aggressive treatment differences between actively dying patients with cancer and heart disease: an exploratory study using the sampling dataset of the National Database of Health Insurance Claims	論文	Journal of Cardiology (submitting)	2020	Atsushi Mizuno
75	竹原 健二	国立成育医療研究センター	【分担研究】我が国の小児保健医療の文献・データからの現状評価および課題の抽出	班会議	平成30年度厚生労働科学研究費 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「Biopsychosocialに健やかな子どもの発達を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」・第二回班会議報告	2019	竹原健二
76	竹原 健二	国立成育医療研究センター	分担研究開発課題 2 介入すべき臨床課題の抽出と費用対効果分析	班会議	2019年度AMED「周産期・小児領域における高品質臨床研究推進のための臨床研究コンソーシアム」・第二回班会議報告	2020	竹原健二
77	竹原 健二	国立成育医療研究センター	我が国の小児保健医療の文献・データからの現状評価・課題の抽出	報告書	平成30年度厚生労働科学研究費 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「Biopsychosocialに健やかな子どもの発達を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」・分担研究報告書	2020	竹原健二
78	室 高広	長崎大学病院	ナショナルデータベースを用いた市中肺炎患者の血液培養検査に関する実態調査	学会	第35回日本環境感染学会・学術集会	2020	室高広、安藤文彦、奥田千恵子、泉川公一、佐々木均
79	浜田 将太	医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構	NDBを用いた地域在住高齢者における内服薬剤種類数の実態	学会	第30回日本疫学会学術総会	2020	浜田将太、岩上将夫、佐方信夫、石崎達郎、田宮菜奈子、小島太郎、秋下雅弘
80	但馬 剛	国立成育医療研究センター研究所	COST-UTILITY ANALYSIS OF NEWBORN SCREENING PROGRAM BY TANDEM MASS SPECTROMETRY IN JAPAN	学会	ISPOR Europe 2019	2019	Konomura K, Tamura Y, Akazawa M, Fukuda T
81	但馬 剛	国立成育医療研究センター研究所	新生児マススクリーニングの費用対効果に関する研究	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）2019年度分担研究報告書	2020	福田敬、此村恵子

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期（年）	発表者
82	但馬 剛	国立成育医療研究センター研究所	ナショナルデータベースを利用した対象疾患の罹患率・罹患率の検討	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）2019年度分担研究報告書	2020	西野善一、福田敬、此村恵子
83	但馬 剛	国立成育医療研究センター研究所	新生児マススクリーニングに関する疫学的・医療経済学的研究	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）2019年度総括報告書	2020	但馬剛
84	但馬 剛	国立成育医療研究センター研究所	新生児マススクリーニングに関する疫学的・医療経済学的研究	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）2019年度概要報告書	2020	但馬剛
85	但馬 剛	国立成育医療研究センター研究所	新生児マススクリーニングに関する疫学的・医療経済学的研究	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）研究成果紹介資料	2020	但馬剛
86	小泉 龍士	国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター	Comparison of Patterns of National Oral Antibiotic Use between All Dentists and Medical Doctors in Japan in 2016 using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan (NDB)	学会	IDWEEK2019	2019	石金正裕、田中知佳、日馬由貴、都築慎也、村木優一、山崎大輔、田辺正樹、大曲貴夫
87	小泉 龍士	国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター	First National Survey of Antibiotic Use Prescribed by All Dentists in Japan from 2015 to 2017 using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan (NDB)	学会	IDWEEK2019	2019	石金正裕、田中知佳、大野幸子、日馬由貴、都築慎也、村木優一、山崎大輔、田辺正樹、大曲貴夫
88	小泉 龍士	国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター	歯科外来における抗微生物薬使用量の実態と課題	雑誌	南山堂『薬局』『薬局』4月号「歯科領域の薬物療法」2020;22-27	2020	石金正裕
89	小泉 龍士	国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター	レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）に基づいた歯科領域における 抗菌薬使用量サーベイランス	HP	国立国際医療研究センターAMR臨床リファレンスセンターのサイト内 (http://amrcrc.ncgm.go.jp)	2019	日馬由貴、田中知佳、石金正裕、村木優一、山崎大輔、田辺正樹、大曲貴夫
90	後藤 禎人	京都大学	日本における生活保護受給者の生活習慣病実態調査。	学会	第30回日本疫学会学術総会。京都。2020/1/21-22.	2020	仙石多美、中山健夫、石崎達郎、加藤源太、大寺祥佑、岩尾友秀、酒井未知、後藤禎人、高橋由光。
91	後藤 禎人	京都大学	NDB サンプルングデータセットを用いた生活習慣病有病状況の把握	報告書	平成30年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業)). 医療費適正化に向けた生活保護受給者の医薬品処方および生活習慣病の実態調査：大規模レセプト分析（H29-政策-指定-007）分担研究報告書	2019	中山健夫、仙石多美、後藤禎人、高橋由光。
92	石橋 尚人	内閣府経済社会総合研究所	医療の質の変化を反映した価格の把握手法に関する研究（中間報告）について	その他	第137回 統計委員会	2019	丸山雅章、市川恭子
93	石橋 尚人	内閣府経済社会総合研究所	医療の質の変化を反映した価格の把握手法に関する研究	その他	第2回 統計改革調査部会幹事会	2019	丸山雅章、石井達也
94	荒井 國三	金沢大学	NDBを用いたDPC病院におけるがん疼痛患者の退院時多剤処方の実態調査	学会	日本薬学会第140年会	2020	荒井國三
95	恒石 美登里	日本歯科総合研究機構	「NDB第三者提供を経験して」	シンポジウム	口腔衛生学会関東地方研究会	2019	恒石美登里
96	恒石 美登里	日本歯科総合研究機構	歯周炎病名の歯式を用いた歯種別の現在歯の状況—レセプト情報・特定健診等情報データベースによる横断研究—	論文	日本歯科医療管理学会雑誌	2019	恒石美登里 山本龍生 山口武之

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期（年）	発表者
97	恒石 美登里	日本歯科総合研究機構	レセプト情報・特定健診等情報データベースを用いた歯数とアルツハイマー型認知症との関連	学会	日本老年歯科医学会	2020	恒石美登里, 山本龍生, 山口武之, 小玉剛, 佐藤保
98	石田 弘子	徳島県保健福祉部	徳島県のジェネリック医薬品使用実態に関する調査	報告書	徳島県後発医薬品協議会	2020	石田弘子
99	石田 弘子	徳島県保健福祉部	徳島県のジェネリック医薬品使用実態調査結果について	報告書	（一社）徳島県薬剤師会の冊子「県薬だより」（第105号）	2020	石田弘子
100	塚本 桂	岐阜薬科大学	ナショナルデータベースに見る同種同効薬処方に影響を及ぼす薬剤特性に関する研究	修士論文	岐阜薬科大学修士論文発表会	2018	森大知
101	塚本 桂	岐阜薬科大学	Are Qualities of Drug Important Factors for Acquiring Market Share?	学生フォーラム	日丁レギュラトリーサイエンスフォーラム（CORS-GRS Student Forum）	2018	Daichi Mori, Kenya Kobayashi, Tomoko Matsumoto, Naoki Matsumaru, Katsura Tsukamoto
102	塚本 桂	岐阜薬科大学	Future Perspectives for the Treatment of Diabetes: Importance of a Regulatory Framework	論文	Therapeutic Innovation & Regulatory Science 2019; 53(4): 535-541	2018	Katsura Tsukamoto, Miriam Cnop, Daichi Mori, Shoen Kume, Takayuki Anazawa, Masako Doi, Kazuhiko Chikazawa, Naoki Matsumaru
103	池田 華子	京都大学	NDBサンプリングデータを用いた本邦における網膜動脈閉塞症の年間新規発症患者数調査	学会	125回京都眼科学会	2019	木戸 愛, 三宅 正裕, 平木 秀輔, 池田 華子, 田村 寛, 辻川明孝
104	池田 華子	京都大学	NDBサンプリングデータを用いた本邦における網膜動脈閉塞症の年間新規発症患者数調査	学会	第36回日本眼循環学会	2019	木戸愛, 三宅正裕, 平木秀輔, 池田華子, 田村寛, 辻川明孝
105	池田 華子	京都大学	NDBサンプリングデータセットを用いた網膜動脈閉塞症の患者数実態調査	学会	第 2 回京都メディカルデータサイエンス研究会	2019	木戸愛、池田華子、三宅正裕、田村寛、平木秀輔、辻川明孝
106	池田 華子	京都大学	希少疾病用医薬品認定にむけリアルワールドデータの利活用の可能性：第2報	学会	第3回京都メディカルデータサイエンス研究会	2020	池田華子、木戸愛、田村寛、三宅正裕、平木秀輔、辻川明孝
107	内田 裕之	慶應義塾大学	Prescription patterns of psychotropic drugs in patients who were receiving steroidal anti-inflammatory drugs: Analysis of Japanese national prescription data	学会	第 6 回アジア神経精神薬理学会大会	2019	Taisuke Yatomi, Takahito Uchida, Hiroyoshi Takeuchi, Shin Kuramochi, Masaru Mimura, Hiroyuki Uchida
108	内田 裕之	慶應義塾大学	Prescription patterns of psychotropic drugs in patients who were receiving steroidal anti-inflammatory drugs: analysis of Japanese national prescription data	学会	第32回欧州神経精神薬理学会大会	2019	Taisuke Yatomi, Takahito Uchida, Hiroyoshi Takeuchi, Shin Kuramochi, Masaru Mimura, Hiroyuki Uchida
109	内田 裕之	慶應義塾大学	ステロイド性炎症薬内服者の向精神薬処方パターン：本邦のレセプトデータ解析	学会	第29回日本臨床精神神経薬理学会	2019	彌富泰佑, 内田貴仁, 竹内啓善, 倉持信, 三村將, 内田裕之
110	石金 正裕	国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター	Increase of parenteral antibiotic use in Japan could be explained by the society aging	学会	ECCMID2020(コロナ感染拡大のため、学会中止:要旨のみ掲載)	2020	小泉龍士、日馬由貴、具芳明、石金正裕、村木優一、山崎大輔、田辺正樹、大曲貴夫

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期（年）	発表者
111	石金 正裕	国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター	レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）に基づいた入院・外来および年齢区分別、注射用抗菌薬使用量サバイランス	HP	国立国際医療研究センターAMR臨床リファレンスセンターのサイト内 (http://amrcrc.ncgm.go.jp)	2020	日馬由貴、小泉龍土、石金正裕、村木優一、山崎大輔、田辺正樹、大曲貴夫
112	石金 正裕	国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター	レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）に基づいた抗菌薬使用量サバイランス	HP	国立国際医療研究センターAMR臨床リファレンスセンターのサイト内 (http://amrcrc.ncgm.go.jp)	2020	日馬由貴、小泉龍土、石金正裕、村木優一、山崎大輔、田辺正樹、大曲貴夫
113	高野 直樹	神奈川県神奈川県総務局財産経営部 財産経営課	レセプト情報等第三者提供制度を利用した県内医療的ケア児数の推計調査報告書	報告書	神奈川県公式ホームページ内「医療的ケア児の在宅医療（小児等在宅医療連携拠点事業）」URL： http://www.pref.kanagawa.jp/docs/t3u/cnt/shounizaitaku/top.html	2020	神奈川県健康医療局保健医療部医療課（申出者の申出当時の所属名により公表）
114	山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター	NDBを活用した乳幼児健康診査の医療経済学的分析に関する研究 ～先天性股関節脱臼に対する分析～	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）乳幼児健康診査に関する疫学的・医療経済学的検討に関する研究（H29-健やか―指定- 002）令和元年度 総括・分担研究報告書	2020	山崎 嘉久、野口 晴子、小倉加恵子、佐々木 溪円、山縣 然太郎、服部 義、平澤 秋子
115	山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター	NDBを用いた乳児股関節検診への超音波検査導入の効果に関する研究	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）乳幼児健康診査に関する疫学的・医療経済学的検討に関する研究（H29-健やか―指定- 002）令和元年度 総括・分担研究報告書	2020	野口 晴子
116	山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター	NDBを活用した乳幼児健康診査の医療経済学的分析に関する研究 ～先天性股関節脱臼に対する分析～	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）乳幼児健康診査に関する疫学的・医療経済学的検討に関する研究（H29-健やか―指定- 002）平成29年度～令和元年度 総合研究報告書	2020	山崎 嘉久、野口 晴子、小倉加恵子、佐々木 溪円、山縣 然太郎、服部 義、平澤 秋子
117	山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター	NDBを用いた乳児股関節検診への超音波検査導入の効果に関する研究	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）乳幼児健康診査に関する疫学的・医療経済学的検討に関する研究（H29-健やか―指定- 002）平成29年度～令和元年度 総合研究報告書	2020	野口 晴子
118	山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター	第4章 医療経済学的視点からみた事業評価の考え方 第2節 NDB(National Database)を用いた乳幼児健診の医療経済学的な分析の試み（発育性股関節形成不全のスクリーニング手法に対する議論）	報告書	「データヘルス時代の乳幼児健康診査事業企画ガイド ～生涯を通じた健康診査システムにおける標準的な乳幼児健康診査に向けて～」厚生労働行政推進調査事業費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）乳幼児健康診査に関する疫学的・医療経済学的検討に関する研究班作成	2020	山崎 嘉久（監修・発行者）
119	三浦 宏子	国立保健医療科学院	歯科レセプト分析による歯科医療提供状況の評価に関する研究	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）歯科医師の勤務状況とナショナルデータベースに基づく歯科医療提供状況調査研究 令和元年度 分担研究報告書	2020	児玉知子、井田有亮、大島克郎、三浦宏子